広報
おおがた
URL http://www.ogata.or.jp/
E-mail :ogata_mura@ogata.or.jp
発行　秋田県大潟村役場
南秋田郡大潟村字中央１番地１
電話　0185(45)2111(代) FAX 0185(45)2162
大潟村 創立50周年
夢あふれ　かがやく大地　広がる未来

●今月の主な内容

◇ 大潟村創立50周年記念式典・祝賀会
◇ 大潟小学校学習発表会
◇ 一日行政体験、村づくり懇談会
◇ ドリーム・スピーチ・コンテスト

大潟村公式ブログ
「おおがた散歩」公開中！
http://www.ogata.or.jp/blog/
公式ホームページトップのバナーからもアクセスできます。

大潟村創立50周年記念式典 厳かに行われる

11月23日（日）、村民体育館において、大潟村創立50周年記念式典が執り行われました。

式典終盤、村長と５人の中学生によって、100周年に向けた「大潟村未来宣言」が読み上げられました。

特集：Ｐ２～３、Ｐ17～18（カラー）

男鹿半島・大潟ジオパーク

No. 513
平成26年
12月号

大潟村創立50周年記念式典

11/23（日）

11月23日（日）、大潟村創立50周年記念式典が執り行われました。会場の村民体育館には約500名の参列者と小中学生約300名が集い、湖に生まれた大地・大潟村の半世紀の歩みに想いを馳せました。

式典のオープニングを飾り、小学校全校児童による「あの青い空のように」、そして中学校全校生徒による「ふるさと」の合唱がありました。開式後は、児童生徒・参列者全員で国歌および大潟村民の歌を斉唱。会場全体が一つになりました。

村長による式辞では、「大潟村は昭和39年10月１日、国営八郎潟干拓事業により、日本唯一の干拓地自治体として発足しました。そして昭和42年に第一次入植者56名とその家族により、営農と村づくりがスタートしました。これまで計589名が入植し、その家族、役場、学校、カントリー公社などの勤労者と共に村づくりが進められてきました。生産調整をめぐり混乱した時期もありましたが、現在は８割の農家が経営移譲し、９割の農家が生産調整に取り組む新たな次代に向かう移行期にあります。また、村づくりの魂ともいうべきコミュニティづくりも村民自ら率先して行い、大潟村はまさに近代的農村へと発展することができた。日本は今、米価低迷のなか農政の大きな転換期を迎え、ＴＰＰ等の貿易自由化の圧力も強まっています。また、少子高齢化、農業の担い手不足等、農業・農村をめぐる情勢は決して楽観はできません。一方、地方創生に示されるように日本の再生に、農業・農村への期待は大きいものがあります。大潟村は、そのような新たな国民の期待に応えるため、村民一人ひとりが夢を抱き、開拓者精神を持って『大潟村未来宣言』の具現化を図り、今後もモデル農村としての挑戦を続けて参ります。」等と述べました。

続いて、村の発展に尽力されたとして29名に表彰状が授与され、３団体・３名に感謝状が贈

厳粛な雰囲気の中、村長式辞

祝辞を述べられた壇上のご来賓

代表者への表彰状授与

小林祐一氏による記念講演

呈されました（詳細は右頁参照）。

次に来賓より祝辞がありました。まず農林水産大臣からの祝辞を農林水産省農村振興局次長小林祐一氏が代読。続いて佐竹敬久県知事、齋藤正寧県町村会長、金田勝年前衆議院議員、阿部文夫村議会議長の四氏から、村の更なる発展を祈念した祝辞をいただきました。

続いて行われた「大潟村の将来に何を展望するか」と題された記念講演では、農林水産省農村振興局次長の小林祐一氏から「恵まれた農地・体・人を存分に生かし、日本の農業・農村の新たなモデルへ！」と力強いメッセージをいただきました。

最後に、村長と中学生５名により「大潟村未来宣言」が力強く行われました。（宣言文は次頁、カラー写真は17頁）。

被表彰者一覧

※敬称略

表彰区分	所属等名称	氏　　名
地方自治功労表彰	議会議員	阿部文夫、丹野敏彦 川﨑幸江
	村職員	北嶋学、宮田雅人 伊東寛、小瀧みゆき 石川歳男、児玉美奈子 近藤比成、工藤修功
住民福祉功労表彰	国民健康保険運営協議会委員	荒谷光、菅原アキ子
	交通指導員	鈴木俊仁、丹羽清三 小林信之、佐伯賢治 斎藤美穂子
	民生児童委員	加藤則子
	社会福祉協議会役員	森田勝利、山本宏
産業功労表彰	農業委員	古戸重則、村上孝憲
教育功労表彰	スポーツ委員	大澤祝子
	生涯学習奨励員	福田政美
	スポーツ少年団指導者	三浦智、三浦松之 鎌田鐵也、樋熊学

感謝状受領者一覧

※敬称略

感謝状（団体表彰）	ゆずり葉
感謝状（団体表彰）	耕心会
感謝状（団体表彰）	大潟の自然を愛する会
感謝状（個人）	林　ヤエ子
感謝状（個人）	浅野　忠勝
感謝状（個人）	加藤　早織

祝賀会 11/23（日）

記念式典終了後、サンルーラル大潟へと会場を移して、大潟村創立50周年記念祝賀会が行われ、約300名が出席しました。

多数のご来賓から大潟村へのエールが送られ、100周年に向けて新たなスタートが力強く切られました。

大潟村が歩んだ半世紀に乾杯！！そして100周年へ

石井浩郎参議院議員より祝辞

龍勢会による太鼓演奏

大潟村未来宣言

大潟村は世紀の大事業、八郎潟干拓により食糧生産基地として、日本農業のモデルとなるような生産性および所得水準の高い農業経営を確立し、豊かで住みよい近代的な農村社会を作ることを目的に誕生しました。この50年の間、減反政策をめぐり混乱する時期もありましたが、多くの関係者と周辺市町の皆様にご理解とご支援を頂き、食糧生産基地の使命を果たし、担い手の育成も順調に進み、緑豊かな近代的な農村へと発展しました。

日本は農業政策の大転換と農村を取り巻く環境変化のなかにあり、世界は経済自由化の推進や自然環境問題など多くの課題を抱えています。そのような情勢のなか、日本の農業・農村に求められていることも大きく変化してきました。

大潟村が、わが国の新たな農村のモデルとして、今後もたゆまず歩み続けるとともに、村創立50周年の節目にあたり、100周年の未来に向けた村づくりの起点とするため「大潟村未来宣言」を制定いたします。

宣　言　文

一、絆を大切にする村

絆は信頼であり、安心です。絆は心をつなぎ、楽しみをもたらします。村民の絆、大潟村と都市の絆、大潟村と世界の絆、大潟村は絆の結び目として、絆を強め、大切に広げていきます。

二、自然と農業と人が共生する村

大潟村の自然は、干拓により湖底に誕生し、育まれました。水田農業を中心に人々の営みと自然が共生し、豊かな自然環境を形成してきました。これからも、田園の美しい景観形成を図り、八郎湖の水質改善に取り組み、自然と農業と人が共生する村を目指します。

三、先端産業としての農業の村

大潟村の農業は大規模機械化農業として発展しました。今後も環境創造型農業に先端技術の導入を進め、日本の先端産業として農業の展開を進めます。また、農業や排水、生活に使用するエネルギーの自然エネルギーへの転換を進めます。

四、日本一元気な長寿村

大潟村は、今後、高齢化がますます進みます。農業や社会活動への参加により、子どもから高齢者まで活き活きと元気に安心して暮らす、日本一元気な長寿村を目指します。

五、開拓者精神を引き継ぎ、逞しい子どもを育てる村

大潟村は、全国からの入植者とその家族によって農業と村づくりが進められ、現在の豊かな村となりました。幾多の困難を乗り越え、様々な挑戦をしてこられたことは、先人の「開拓者精神」があったからです。

大潟村の開拓者精神を引き継ぎ、未来の大潟村と日本を支え、世界に翔ばたく、逞しい子どもを育てます。

「過去を学ぶことは、現在を知り、未来を創るため」と言う言葉があります。50周年記念事業を通じ、過去を学び、現在を知ることにより、100周年に向けた村づくりを進めます。

村民一同大きな夢と希望を抱き、未来に向けて「大潟村未来宣言」をここに宣言します。

2014年秋の叙勲・褒章　村内から３名が受章

守時一（ひとし）氏　瑞宝中綬章を受章

守時一さん（79歳、東3-4）が瑞宝中綬章を受章されました。

守時さんは塑性加工学の分野において延性破壊の塑性力学的予測に関する新しい判定基準を提唱し、塑性加工学の発展に貢献した世界的に著名な学者・研究者です。

平成７年に守時さんの提唱した判定基準により、「金属に力を加えたときにどのように破壊が起こるのか」、「金属を曲げた時にどのくらい元に戻るか」などが高い信頼度で予測することが可能になりました。

これらの功績が高く評価され、この度の受章となりました。

守時さんはこれまでにもその功績が認められ、平成12年には日本塑性加工額会賞が贈られ、また海外での評価も高く、招待講演を４回経験しているそうです。

伊藤功正氏　旭日双光章を受章

伊藤功正さん（74歳、西2-2）が旭日双光章を受章されました。

伊藤さんは三種町（旧八竜町）出身で、昭和42年に第１次入植者として大潟村へ入植されました。入植後は、平成８年９月に村議会議員に初当選し、平成24年９月までの４期16年の長きにわたり在職し、平成12年９月から平成16年９月までは村議会副議長、平成16年９月から平成24年９月までの２期８年間は村議会議長として、村議会の円滑な運営に尽力されました。

また、議長となってからは、南秋田郡町村議会議長連絡協議会や秋田県町村議会議長会においても会長・副会長を歴任するなど、南秋田郡や秋田県の発展にも多大な貢献をされました。

これらの功績が高く評価され、顕著な功績を挙げたとして旭日双光章の受章となりました。

谷口良一氏　藍綬褒章を受章

谷口良一さん（東2-6）が、永年にわたる消防団活動に貢献されたご功績により藍綬褒章を受賞されました。谷口さんは、昭和53年11月に大潟村消防団に入団して以来、操法技術の習得に努め、村内における火災や自然災害、捜索活動等の消防活動に率先してあたって来られました。また、団員の操法指導にも注力され、平成14年には秋田県初となる全国消防操法大会ポンプ車の部優勝に大きく貢献したところです。

昨年１月には副団長に任命され、団の運営及び団員の指揮を担っておられます。永年の献身的なご努力と不断のご労苦に対し改めて敬意を表しますとともに、今後もより一層、村消防力の向上にご尽力いただきたいと思います。

大潟小学校学習発表会

絆を深め心をひとつに！最高の学習発表会

11月１日（土）、大潟小学校体育館において、学習発表会が開催されました。

会場には、児童らのがんばりを見ようと家族や関係者が訪れ、加えて、たくさんのビデオカメラの視線がステージに注がれていました。

児童たちは、家族らが注目する中で多少緊張しながらも、楽器の演奏や合唱、演劇など、日頃の学習の成果を力強く発表していました。

１年生は、大潟村のまつりを表現した踊りを披露

これまで、そして未来の大潟村に思いを馳せた、４年生の劇

５年生の組み体操では、大潟村に関する様々なものを表現。写真は「サルビア」

2年生の劇では、なまはげが登場。「なまはげさん、まんず一杯飲んでけろす～」

箏クラブの演奏。村の先生と一緒に、とても優雅に弾いていました

３年生の紅白歌合戦では、両チーム共にはきはきと楽しそうに歌っていました。

６年生は劇「同窓会ごっこ」を披露。腕を組んで豪快に笑うのは、“佐藤一平総理大臣”（東3-3）

ふるさと秋田　大井錦亭米寿記念個展開催

大潟村創立50周年記念事業の一環として、毎日書道会常任顧問の書道家、大井錦亭さん（秋田市出身）の米寿を記念した書道展「ふるさと秋田　大井錦亭米寿記念個展」が干拓博物館を会場に11月22日（土）から12月５日（金）まで開催されました。

今回の展示には、大潟村創立50周年を記念して制作された大作「献寿杯（けんじゅはい）」など、新作42点を含む51点が出品され、来館者からは作品の迫力に対して感嘆の声が聞かれました。

また11月29日（土）、同会場において、この度の個展開催に対する感謝状が村から大井錦亭氏に贈呈されました。

大井錦亭氏による実演。来場者は食い入るように見ていました

大作「献寿杯」の前で感謝状が贈呈されました

マラソン指導者・小出義雄氏を大潟村応援大使に委嘱しました

11月13日、役場において、マラソン指導者として有名な小出義雄氏の大潟村応援大使委嘱式が行われました。委嘱式は職員が見守る中で行われ、委嘱状の代わりとなるチュウヒの像が手渡されました。

小出氏が大潟村を訪れたのは今回が初めて。11月14日に中学校で開催されたドリームスピーチコンテスト終了後、「きみならやればできる」と題した講演で、夢をあきらめない大切さやスポーツのすばらしさを教えて頂きました。

今後は、小出氏が感じられた村の魅力を、活躍されているフィールドでＰＲして頂きたいと思います。

応援大使事業は平成23年度に始まり、今年で４年目。小出氏が16人目の大使となります。

フード・アクション・ニッポン・アワード2014 大潟村あきたこまち生産者協会が【コメネピュレ】で最優秀賞受賞！

国産農産物の消費拡大に役立つ取り組みを表彰する「フード・アクション・ニッポン・アワード２０１４」の商品部門で、㈱大潟村あきたこまち生産者協会の【コメネピュレ】が最優秀賞を受賞し、17日、涌井徹代表から村長へ報告がありました。

【コメネピュレ】は米を特殊な製法で、ペースト状に加工した米のピューレ。パンや菓子などの生地とあわせて使用すると、しっとりとした食感を生み出し、小麦や米粉の良さを引き出すとのこと。新たな米需要を生み出すと評価され、県内で初めての最優秀賞受賞となりました。

涌井氏は、「将来的には２～３千㌧への生産量拡大を目指している。大潟村の米がもっと消費されるように、村や村内事業所とも一体となってやっていきたい」と話しました。

涌井徹代表（左）

青風会・東３丁目クラブが表彰されました

10月29日（水）、秋田県民会館（秋田市）にて、健康の増進や社会奉仕活動、地域との交流活動など積極的なクラブ活動をおこなっている優良老人クラブとして「青風会」（栄田操衛会長）が県知事表彰を、「東３丁目クラブ」が秋田県老人クラブ連合会会長表彰をそれぞれ授与されました。老人クラブ連合会、各クラブをはじめ会員の皆さんの今後のさらなるご活躍を期待いたします。

県知事表彰を受けた「青風会」

県連合会長表彰を受けた「東3丁目クラブ」

ブラジル秋田県人会がひだまり苑を慰問

11月２日（日）、ひだまり苑にブラジル秋田県人会から11名の方々が訪れ、民謡を披露しました。今回のブラジル秋田県人会の来日は、国民文化祭のフィナーレで民謡を披露するため。たくさんの施設利用者や職員、関係者が集まる中、ブラジルの演歌や秋田長持ち唄などの民謡を披露しました。村の三味線愛好家の方々による生演奏にあわせ、最後は踊りを交えながらドンパン節をみんなで唄い、会場は大盛況でした。

全国消防操法大会に大潟村消防団が出場

11月８日（土）、東京都江東区内の東京臨海広域防災公園で開催された第24回全国消防操法大会に、秋田県代表として大潟村消防団第３分団がポンプ車操法の部に出場しました。

当日はとても寒く、また雨もぱらつく中、各都道府県代表の消防団員たちが消防技術の早さ、正確さを競い合いました。大潟村消防団は出場隊24団中14位という結果で、３大会ぶり２回目の全国優勝を果たすことはできませんでしたが、選手の方々は「順位は残念でしたが、今出せる全力を尽くすことができました」と振り返っていました。

耕心会がアジサイの剪定を行いました

11月11日（火）、耕心会が、ひだまり苑付近のアジサイの剪定を行いました。

数年前に同会により植えられたアジサイですが、より良い管理のために、今年は北秋田市まで行って剪定の講習を受けてきたそうです。

来年花を咲かせる花芽がすでにたくさん出てきていて、剪定で芽欠きをすることで、よりきれいな花を咲かせるとのことです。

全国高校ラグビー大会秋田県予選で土橋さん・日諸さんが所属する秋田中央高校が優勝！

11月１日（土）に秋田市あきぎんスタジアム（旧：八橋球技場）で行われた第94回全国高校ラグビー大会秋田県予選の決勝において、土橋永卓さん（西2-2）・日諸南海さん（西2-4）が所属する秋田中央高校が秋田工業高校を20対０で完封し、３年ぶり９度目となる花園出場を決めました。

現在、秋田中央高校ラグビー部には大潟中出身者４名が所属し、土橋さん・日諸さんをはじめとする３年生がチームを引っ張っています。12月27日から近鉄花園ラグビー場を主会場として開催される全国大会でも２人の活躍が期待されます。

日諸南海（みなみ）さん

土橋永卓（えいたく）さん

大潟ドリームス北日本大会で第３位！

11月１日～２日、岩手県雫石町で第11回北日本少年軟式野球選手権大会が開催され、大潟ドリームスが３位になりました。この大会は、北海道と青森県・岩手県・秋田県の代表10チームがトーナメント方式で対戦し、大潟ドリームスは今大会の優勝チームに敗れたものの３位決定戦を見事制しました。

大潟女子ミニバススポ少、魁杯地区予選で３位入賞！

11月８日～９日に五城目町広域体育館で開催された、第３回男鹿潟上南秋交歓ミニバスケットボール大会兼第43回魁杯争奪秋田県ミニバスケットボール交歓大会予選で大潟女子ミニバスが３位に入賞しました。全県大会出場をかけた準決勝では船越ミニバスに惜敗しましたが、チーム一丸となって戦う姿に大きな拍手が送られました。また、今大会のベスト５に金華霞（はるか）さん（東2-6）が選ばれました。

秋田県ジュニア水泳記録会で佐藤友耶さんが大活躍！

10月19日に秋田県立総合プールにおいて、2014年度第３回秋田県ジュニア水泳記録会が開催され、大潟小学校６年の佐藤友耶さん（東２－６）が11～12歳の部の100m自由形で第１位、50m背泳ぎで第２位となりました。

一日行政体験事業が行われました

10月29日（水）、役場及び関連施設において、一日行政体験事業が行われ、村内団体や自治会から24名の村民が参加しました。

この事業は、村民に村行政機構の各ポストを体験してもらい、行政に対して理解を深めていただくことを目的として毎年行われています。

当日、参加者は様々な部署に分かれて、担当職員から説明を受けたり、実際に仕事の体験をしたりしました。

農業近代化ゼミナールの佐藤慶一（よしかず）会長（西1-4）は、総務企画課の総務広報班へ配属となり、実際に広報カメラマンの体験もしていただきました（右上の写真は佐藤さんが撮影したもの）。

体験者からは、「今回参加して初めて解ったことがたくさんあり、行政に対する感心が深まった」といった声が聞かれました。

この事業には一般の方も参加出来ます。来年はあなたも参加してみてはいかがでしょうか。

農業委員会へ配属の早津一仁さん（東3－2）

広報カメラマンを体験する佐藤慶一さん（西1－4）

学校教育班で熱心に質問する
本間里美さん（西3-2）

保育園の先生を体験する
谷口拓也さん（東2-6）

工藤猛さん（西2-4）は
環境エネルギー室長の席を体験

税務を体験した、幼稚園ＰＴＡ会長の小林正幸さん（西3-4-4）と木須裕佳理さん（西3-4）

体験終了後、参加者の皆さんから
感想を述べていただきました。

平成26年度　村づくり懇談会

10月29日（水）、役場において、村民約20名の参加のもと平成26年度村づくり懇談会が開催されました。当日は、自治会長や村内団体長から事前に出されていた村への質問・要望と、参加者から直接出された質問･要望などについて、村から回答を行いました。

10月29日（水）に開催された平成26年度村づくり懇談会の主な質問・要望と回答

【質問】ラムサール条約の登録が見直しになったようですが、大潟村の知名度を高めて農産物の販売促進につなげていくという事を考えると、条約登録は一つの有効な方法ではないでしょうか。

宮城県大崎市では、いくつかの沼がラムサール条約の登録を受け、そこで取れた米をブランド化しています。このような先進事例もありますので、再度、ラムサール条約登録を目指していただきたいです。

【回答】大潟村は環境省のラムサール条約登録の準備地域に上がっていて、平成25年12月に環境省から打診があり、国の方からも登録に向けて取り組んで頂きたいとの話をいただき、登録を目指すことにしました。それ以前から、自然活動をしている村内の団体や有機栽培の団体等からも、ラムサール条約登録に向けた話が村に何度もありました。

今回は、来年度の登録に間に合わせるようにということで、時間が無い中で進めざるを得ず、地権者である農家や、土地改良区、猟友会等の理解を得ることができず、見送りということにしました。

ただ、大潟村の豊かな自然をいかに維持し、より豊かにしていくかということ、それと併せて、その環境のもとで行っている農業をいかに発展させるかということは重要だと思っています。そうした勉強会を重ねながら、村民の理解を深めていきたいと思います。なお、平成27年２月には、宮城県伊豆沼など先進地を視察研修したり、講師を招いて話を聞く機会を設けたりしたいと思っています。村民の方からも「登録に向けて取り組みましょう」という声を上げていただくことで村としても推進しやすくなりますので、よろしくお願いします。

【質問】ラムサール条約について７月に村から配られた資料によりますと、指定予定地は、西部承水路と、H地区圃場の西側３分の２ほどでした。

村長によると、直接の指定地でなくても、同一水系であればラムサール条約の名称を使って農産物の販売をすることができるらしいですが、ラムサールという看板を信じて大潟村を評価してくださるお客さんがいるとすれば、指定地でないのにラムサールを名乗るというのは、失礼に当たると思います。

よって、もし今後またラムサール条約登録を目指すのであれば、大潟村全域を指定する方向で進めていただきたいです。

【回答】環境省の見解では、同一水系でかつ同様の取組をしている地域については、ラムサールを名乗ってもいいとのことでした。こういった地域は、核心地域を支える地域ということです。そう

いった仕組みについては大いに活用させていただきたいと思います。

また、ラムサール条約の登録要件として、鳥獣保護法によって特別保護区に指定されていなければならないことから、村内では猟友会など長年活動されている団体の猟場もありますので、保護と活用の両立を図っていきたいと考えています。

今後どのように具体的な検討を進めていくかについては、まだ白紙の状態です。様々な活動をされている方々が共生できる方向を目指していきたいと思います。

【質問】「稲わら焼きストップ」というチラシが来ていますが、八郎潟の中央干拓地内は県の条例の除外規定に当てはまっていると思います。

【回答】除外規定については確認しておりません。なお当該チラシは、10月10日～11月10日までは特に全面禁止です、という趣旨のものです。

指定された期間以外であれば、落ち葉焚きまで規制するものではありませんが、近隣住民からの苦情等があれば、指導の対象となります。

【質問】農家でない人が多くいる住区について、刈り払い機等を配備するのはいいですが、刈り払い機を使ったことがない人たちに使わせてケガをしたら、住区としては責任が取れません。

【回答】今年度は、農家以外の世帯がある住区を中心に、刈り払い機の台数調査をし、10世帯に１台程度、配備しました。

「農家は刈り払い機を持っているが、農家以外の方は刈り払い機がないために住区の草刈りに出られない」という話がありましたので、そういったことのないよう、配備したものです。

配備をする際には、十分に気をつけてくださいということは申し上げていますが、刈り払い機の使用に慣れていない方については、農家の方が中心に指導して頂ければありがたいと思っています。

なお、講習会等については現段階では予定はありませんが、要望があれば検討して参ります。

【質問】平成30年から認定こども園を開設予定とのことですが、新たな建物を作るのですか。また、保育時間はどうなりますか。

【回答】認定こども園として新しい施設を建設し、平成30年度から開園する予定です。０～５歳児までの保育園児及び幼稚園児を、一つの施設で受け入れます。

保育時間に関してですが、保育園児については、保育に欠ける方の中でも、常勤やパートなどの違いによって、従来と同じ保育標準時間と保育短時間という形で運営する方向で検討して参ります。幼稚園児についてはこれまでと同じ保育時間となります。

【質問】認定こども園ができるということで喜ばしいですが、４・５歳児用の保育園を必要としている方もいるなかで、３歳から幼稚園児になると、困る方がいると思います。

【回答】３歳児からの幼稚園移行について

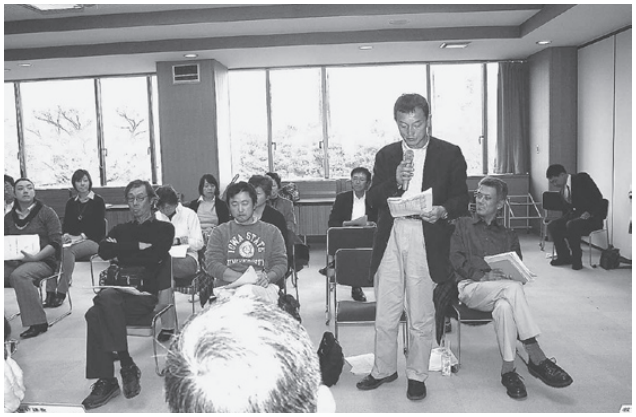
３歳児は心身の発達が著しい時期です。０・１歳児との関わりも重要ですが、４・５歳児との関わりの中で子どもの育ちを助長していくという観点から、良い形での幼稚園教育を進めて参りたいと考えています。

【質問】認定こども園の建設予定地は決まっていますか。学校を建て替えたことで、小学校のグラウンドが遠くなり、校舎のすぐ近くに児童が休み時間に遊べる場所がなくてかわいそうだという声があります。

【回答】正式な建設予定地はまだ決まっていません。検討委員会をつくってこれから検討します。

教育委員会事務局としては、学校と同じ敷地に、新校舎の前に建てた方がいいだろうと考えています。

うんていや鉄棒などの遊具については、校舎の裏側に用意した方が良いか、校舎の前が良いか、現在学校側とも相談しております。



【質問】ひだまり苑の指定管理が切れるまであと１年余りです。

前回の指定管理の更新の際、３月に期限が切れるという中で、方針が出たのは12月に入ってからでした。そんなに直前まで方針が決まらなくては、ひだまり苑で働く人たちは不安にかられます。その不安は、入所者やその家族にも伝わりますし、安心して働ける場でなければいい介護はできないと思います。

今回のひだまり苑の指定管理期間は平成28年３月までですので、平成26年中など、早い時期に村の方針を決めてくださるようお願いします。

もっと言えば、ひだまり苑の指定管理者は、期限ごとに必ず公募するのではなく「落ち度がなければ同じ事業所に継続して任せる」というやり方はできないものでしょうか。

なお、以前、村で社会福祉法人を作るという話が聞こえてきましたが、特別養護老人ホームを扱う社会福祉法人の運営は医療との関わりも密接で、そう簡単に誰にでもできるものではないと思います。

【回答】指定管理者制度には、公正な競争原理を働かせるという前提があります。村外には社会福祉法人が多くあり、公募の際にはどこかしらの法人が手を挙げることが予想されます。

一方、村内に事業所があれば、村内事業所育成という観点から、村外の事業所と競争させずに、しっかり審査をして指定管理者に指定するという方法もあるので、そうした手法で安定的にできないかという話は、これまでさせていただいてきました。

村内では社会福祉協議会とＪＡ大潟村において、それぞれ福祉事業をどのように捉えていくかを検討しており、そうした村内事業所が今後の村の福祉を考えていくということは非常にありがたいと思っています。

また、医療と福祉を考えた場合は、湖東厚生病院と良い関係を築き、湖東厚生病院と福祉をうまく繋げることが重要だと考えています。

いずれにしろ、ひだまり苑の入所者やそこで働く人たちに迷惑をかけないようにということを念頭に置きながらも、将来どのような形が大潟村にとって一番有用なのかということや、村内の事業所が検討している状況を踏まえて判断していきます。

【質問】定住化促進事業として、宅地分譲とありますが、村営住宅を建てればいいのではないでしょうか。

【回答】村営住宅や特別公共賃貸住宅への入居希望は多くありますが、村営住宅を建てることは、建設後の管理も含めて、村にとってかなりの財政負担になりますので、宅地分譲という形を取ることとしました。

農家の後継者の方が結婚を機に村外のアパートへ引っ越すケースもありますので、そういった方の定住化促進に繋がればと考えています。

【質問】農業研修センターの建物について、村が引き取るかどうかという話し合いがあったようですが、現在どのようになっていますか。

【回答】秋田県からは、村が引き取りやすい条件を提示してきており、現在話し合っています。今年度中には何とか結論を出したいです。

なお、建物自体がだいぶ古くなってきており、既存の村内施設もあまり利用されていないものがある中で、農業研修センターの建物を村で引き取って維持費に見合うだけの有効活用ができるかを考えた場合、現段階では厳しいと思っています。

大潟村創立50周年記念連続フォーラム

日本農業・農村の未来へ　大潟村からの提言

第2回フォーラム

11月８日（土）、ホテルサンルーラル大潟において、大潟村創立50周年を記念する連続フォーラム（全３回）の第２回フォーラムが開催されました。

「日本農業・農村の未来へ　大潟村からの提言」と題された本連続フォーラム。第２回目は、「未来を支える新たな農業の展望」というテーマで行われました。

【第１部】基調講演「乾田直播栽培による大規模輪作営農」

基調講演には、農研機構東北農業研究センター上席研究員の大谷隆二氏をお迎えしました。

大谷氏からは、低コストで収量増加が望める乾田直播実践の可能性について講演をいただきました。

大谷　隆二氏

【第２部】報告・提言発表

基調講演の後には、報告と提言がそれぞれ４名ずつからありました。

伊藤　千春氏

秋田県農業試験場生産環境部主任研究員の伊藤千春氏からは、「作物の安定生産を支える大潟村土壌の実態」と題し、「大潟村の土壌は開村から50年経った今でも、県内の他の水田と比較して間違いなく肥沃である」との報告がありました。同時に、長期的に見れば減少している成分もあるので、土壌診断の実施と施肥管理に目配りすることが望ましいとのお話でした。

岩井真二氏（東2-3）からは、大潟村農業者として「有機栽培圃場からの現状報告」と題して提言をいただきました。

食の安全性へのこだわりから自然栽培米へ取り組んでおり、収穫量の安定化を図るための除草対策などについてお話をいただきました。

岩井　真二氏

佐藤　孝氏

秋田県立大学准教授の佐藤孝氏からは、「排水不良水田における持続的田畑輪換体系の可能性」と題して報告をいただきました。ＴＰＰや米価下落などの昨今の状況を踏まえて「畑作物・園芸野菜の生産拡大」に向けた可能性や課題についてお話がありました。

埴生望氏（東3-2）からは、大潟村農業者として「稲・麦・大豆２年３作体系と小麦の新品種について」と題して提言をいただきました。

「銀河のちから」という新品種の小麦が、麺類やパンの材料として期待が寄せられており、品質と生産量の安定に向けて取り組んでいるとのことでした。

埴生　望氏

長濱健一郎氏

【第３部】報告・提言発表～総括

秋田県立大学教授の長濱健一郎氏からは、「多様な農業の展開と地域ブランド創出による販売戦略」と題して報告いただきました。

「大潟村地域ブランドによって食糧生産基地としての地位を確保すること、また個々の経営者としての能力発揮によって先進農業地域へ」とのお話をいただきました。

信太惇吉氏（西3-2）からは、大潟村農業者として「長ネギの生産に至った経緯とこれから」と題して提言をいただきました。

「これからはプロダクトアウト型、マーケットイン型、そしてプロジェクトアウト型の販売を並行して行うことが必要になってくる」との提言をいただきました。

信太　惇吉氏

小林　肇氏

ＪＡ大潟村代表理事組合長の小林肇氏からは、「ＪＡ大潟村の役割とマーケット」と題して報告がありました。

「消費者や実需先から情報収集し、戦略を明確にすることが重要。全国の仲間との連携と情報交換を大切にしていきたい」とのお話でした。

大潟村松橋ファームの松橋明子氏からは、「人と人とが繋がる農業を目指して」と題して提言をいただきました。

「食べる人・作る人・伝える人（販売する人）、３者の顔が見える関係を大切にしながらコミュニティづくりをしたい」、「大潟村を、人々が集い、繋がる空間にしたい」との展望を述べられていました。

松橋　明子氏

この日の最後には、第２回フォーラム全体の提言として、以下の提言がなされました。

《地域と土に根ざした新たな技術の創造と次世代への伝承》
⇒豊かな土に根ざした新たな技術開発に挑戦し続け、「経験」と「創造技術」を次世代に伝えよう

《生物・環境と調和した技術の発展》
⇒生きものと共生し、環境と調和した技術を発展させよう

《多様な農業経営者の連携に基づく食糧生産基地機能の発展》
⇒生産から販売まで多様な農業経営者の連携に基づき消費者と繋がる食糧生産基地としての役割を発展させよう

《全国への情報発信と連携強化》
⇒技術、食、環境など多様な分野の情報を全国に積極的に発信し、相互理解と連携を強めよう

全３回からなる連続フォーラムは、第１回、第２回の提言を踏まえ、１月17日（土）に「夢あふれかがやく村をめざして」というテーマで第３回フォーラムが開催されます。

ドリーム・スピーチ・コンテスト

11月14日（金）、大潟中学校体育館において、大潟村創立50周年記念「中学生ドリームスピーチコンテスト」が開催されました。

コンテストには、大潟中学校と周辺市町の中学校合わせて12校の代表が参加し、将来の夢について力強くスピーチをしました。大潟中学校からは、２年生の池田侑生（ゆうき）さん（東3-4）が「夢と真剣に向き合う」というテーマで、「教師になりたい」という夢について話しました。

最優秀賞は、「自分の意志で、自分の道へ」と題して表現力豊かにスピーチした、天王南中学校３年の菊池栞奈（かんな）さんが受賞しました。

また、12名の生徒たちのスピーチの後には、前日に大潟村応援大使の委嘱を受けた小出義雄氏の講演会がありました。小出氏は、高橋尚子氏らオリンピック選手を育成した際のエピソードを交えて、「諦めが一番良くない。人間、誰もが良い所を持っている。夢を持ち続けて、努力を重ねることが大切です。」と、大潟中学校の生徒たちに力強いエールを送りました。

大潟中学校代表の池田侑生さん

「才能はどこに潜んでいるかわからない。努力は無限にできる。だから努力したらいい。」と小出氏

緊張のスピーチを終え、笑顔がこぼれる発表者の皆さん

大潟村創立50周年記念事業 ～平成27年1月の予定～

連続フォーラム　第３回フォーラム

最終回となる３回目のフォーラムは、「夢あふれ、かがやく村をめざして」という「むらづくり」に関してのテーマを掲げ、第１部において藻谷　浩介氏（㈱日本総合研究所　調査部　主席研究員ほか）から基調講演（演題未定）をいただきます。

第２部においては、村内ボランティア団体から「活動内容とまちづくり」に関して発表をいただくこととしております。

また、第３回フォーラムの総括後、これまで開催した全３回の座長等により、フォーラム全体の総括を行います。

参加は無料です。お誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。

【全体テーマ】「日本農業・農村の未来へ、大潟村からの提言」
【第３回テーマ】「夢あふれ、かがやく村をめざして」
【日時】平成27年１月17日（土）　13：00～
【会場】ホテル　サンルーラル大潟（入場無料）
【主催】大潟村・秋田県立大学
【問合せ】総務企画課　☎ 45-2111

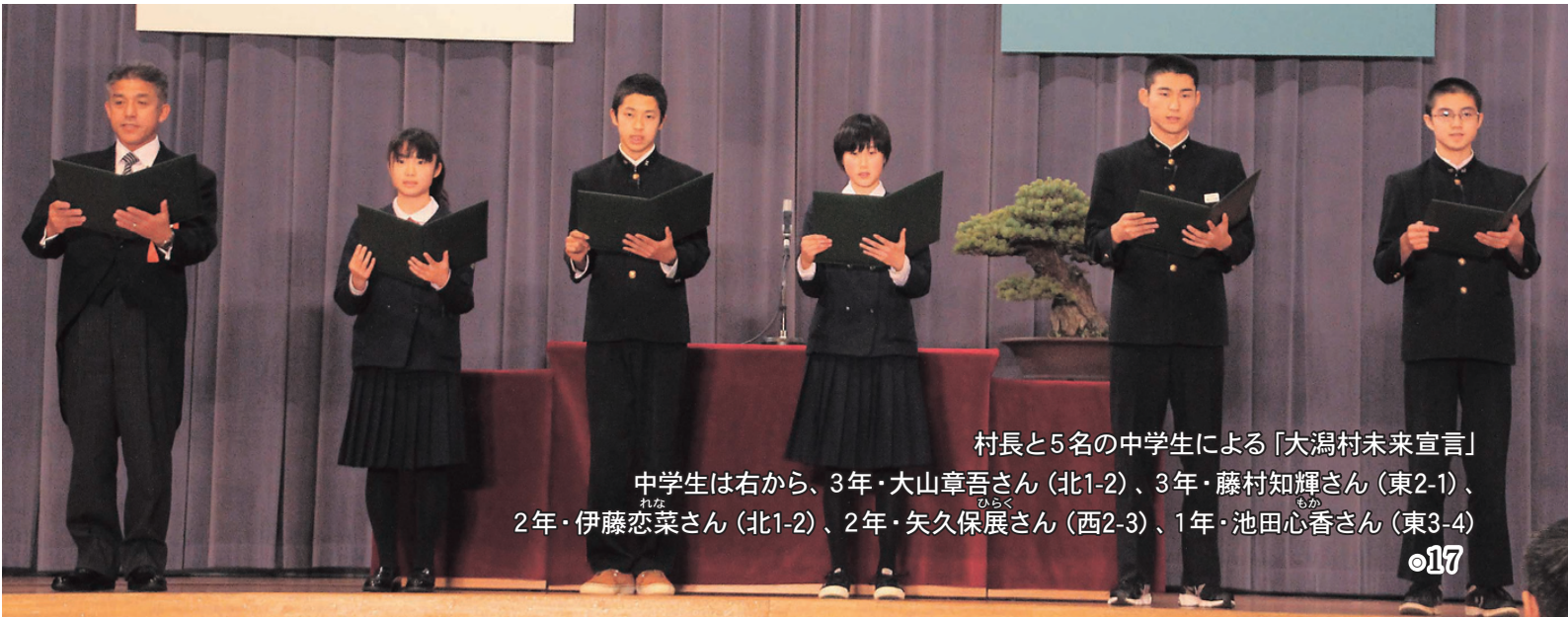
【基調講演】
㈱日本総合研究所 調査部
主席研究員 藻谷浩介

50周年記念式典カラー特集

小中学生合わせて約300名による合唱。次代を担う児童生徒が、元気いっぱいに歌ってくれました

式典当日は、大潟村の明るい前途を示すかのような快晴でした

代表で表彰状・感謝状を受けた方々



村長と5名の中学生による「大潟村未来宣言」
中学生は右から、3年・大山章吾さん（北1-2）、3年・藤村知輝さん（東2-1）、
2年・伊藤恋菜（れな）さん（北1-2）、2年・矢久保展（ひらく）さん（西2-3）、1年・池田心香（もか）さん（東3-4）

50周年記念村民大祝賀会カラー特集 11/24（月）

11月24日、サンルーラル大潟において、大潟村創立50周年村民大祝賀会が行われました。

入植者世代、後継者、様々な年代から約500名の村民が参加し、大潟村の50周年を祝いました。

オープニングはウキヤガラボーイズ

しみじみ耳を傾けていました

村長あいさつ

約500名の参加者で、大潟村民の歌を斉唱

男声コーラスのみなさん

コールかざはなの皆さん

家族の絆、友情の絆、住区の絆。いろんな絆がますます深まったようです

自治会長連絡協議会の尾倉会長の音頭で、万歳三唱

一人ひとり、感謝の気持ちでお見送り

大潟村健康づくり推進委員会から

お酒と上手につきあいましょう

お酒の席も多くなってくる時期となりました。適度な飲酒は血圧を下げたり、ＨＤＬ（善玉）コレステロールを増やすなどの効果がありますが、過度な飲酒は肝臓に負担をかけるだけでなく、血圧の上昇や心拍数の増加、中性脂肪やＬＤＬ（悪玉）コレステロールの増加を招きます。血糖値も上昇し、高血糖状態になりやすくなります。その結果、過剰な飲酒が肥満や高血圧症、脂質異常症、糖尿病などの生活習慣病を進行させてしまいます。

飲み過ぎに注意し楽しく、健康的な飲酒を心がけましょう。

適正飲酒の10か条

1．談笑し　楽しく飲むのが基本です
2．食べながら　適正範囲でゆっくりと
3．強い酒　薄めて飲むのがオススメです
4．つくろうよ　週に二日は休肝日
5．やめようよ　きりなく長い飲み続け
6．許さない　他人（ひと）への無理強い・イッキ飲み
7．アルコール　薬と一緒は危険です
8．飲まないで　妊娠中と授乳期は
9．飲酒後の運動・入浴　要注意
10．肝臓など　定期検査を忘れずに

（出典：アルコール健康医学協会）

休肝日

お酒を飲むと、肝臓には中性脂肪が蓄積されます。胃や腸といった消化管の粘膜も荒れてきます。これらの臓器の修復のために、週に２日程度の休肝日を作ることが必要です。

●適度な飲酒量●（適量は1日に以下から１種類です）

種　類	ビール	日本酒	焼酎	ウイスキー	ワイン	缶チューハイ
量	中びん1本(500ml)	1合(180ml)	0.6合(約110ml)	ダブル1杯(60ml)	1/4本(約180ml)	1.5缶(約520ml)
アルコール度数	５度	１５度	２５度	４３度	１４度	５度

※壮年男性の場合の目安です。女性や高齢者では、これより少ない量になります。

お酒の豆知識

アルコールの刺激で胃を荒らさないために…

飲む前にチーズ・牛乳

脂肪分の含まれるチーズや牛乳などには、胃腸の粘膜を保護する効果があります。

二日酔いになってしまったら…

水分、ビタミンC、とにかく安静に！

水分を多く摂る、糖分やビタミンＣを摂ることで症状が緩和されることもありますが、二日酔いにならないためにも適量を守ることが大切です。

文芸　おおがた

白鳥短歌会

僕はいつ何をしたかと言いたげな
少年ガザの街に斃（たお）れる　松岡　正樹

あの人は今どこにほらあの人よ
名は出て来ずに顔だけ浮かぶ　下間　良子

大丈夫五十年目の我が村は
二世三世の力あふるる　佐藤　金治

時雨過ぐ空に残月淡くして
寄り添い架かる虹の儚き　大内　一遙

刈取りの準備万端父と子の
夕べの話題は米価の行方　仁田原鈴子

稲刈りを始めるその日新聞の
トップニュースは米の値下がり　一ノ関征子

こんなにも侘びしきものか秋の月
今宵もひとり源氏読みおり　守時　誓子

年毎に色気無くなる干し物に
今日はピンクのタオル並べむ　佐藤モモ子

九十九島海に向かいて眠りたる
父母の墓前に花を手向ける　川渕キヨ子

Ｔｐｐへのマインドコントロールか
米価もことさら外米並に　小松　稔

平成26年度 大潟村人事行政の運営状況

大潟村人事行政の運営等の状況の公表に関する条例に基づき、大潟村職員の給与・職員数などについてお知らせします。

1.職員数（各年４月１日現在）

部　門	区 分	職 員 数（※）		
		H25	H26	対前年比
一 般 行 政	総 務 他	43人	46人	＋３
特 別 行 政	教　育	12人	11人	△１
公営企業等	下 水 道	１人	１人	—
	そ の 他	４人	４人	—
	小　計	５人	５人	—
合　計		60人	62人	＋２

※一般職の職員数（教育長含む）であり、臨時的任用職員を除いています。

○職員の定員適正化の取り組み

村では、事務の合理化を図りコストの削減に努めるため、平成16年度から職員15％削減を目指しながら職員の適正化に取り組んできました。より一層、行政サービスの質の向上及び業務の効率化を図るため適正な定員について検討しています。

・平成26年度進捗状況

計画人数　61人　　実績人数　61人

2.平均給与月額と平均年齢（平成26年４月１日現在）

区　分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額(※)
一般行政職	40.0歳	279,948円	322,337円

※給料月額とは基本給のことで、給与月額とは、給料月額に諸手当込みの金額のことです。

3.初任給と経験年数別の平均給与月額（平成26年４月１日現在）

区　分		初　任　給	採　用 ２年後
一般行政職	大学卒	172,200円	184,200円
	高校卒	140,100円	148,500円

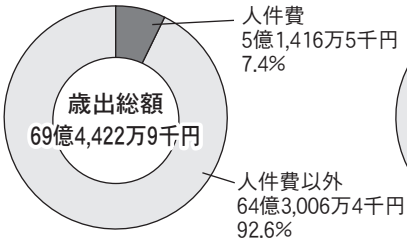
4.一般行政職の級別職員数（平成26年４月１日現在）

区　分	１　級	２　級	３　級	４　級	５　級	６　級	合　計
標準的な職務	主事	主任	主査	課長補佐	主席課長補佐	課長	
職　員　数	15人	11人	4人	7人	6人	4人	47人
構　成　比	31.9％	23.4％	8.5％	14.9％	12.8％	8.5％	100％

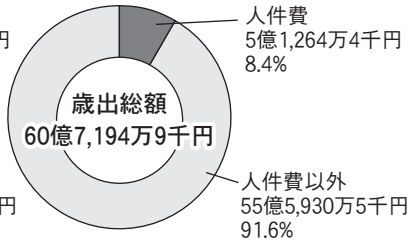
※・上記職員数は、一般行政職の職種に区分されるものです。（他に、税務職・福祉職等があります。）
・標準的な職務とは、それぞれの級に該当する代表的な職務です。

5.人件費の状況（普通会計）

【平成24年度決算】



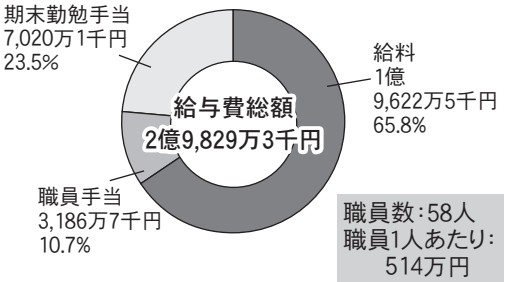
【平成25年度決算】



※人件費には給与のほか、報酬・共済費・特別職の給料を含みます。

6.給与費の内訳（一般会計）

【平成26年度当初予算】



職員数：58人
職員1人あたり：514万円

7. 特別職の給料等の状況

（平成26年４月１日現在）

区　分	給料・報酬額	期末勤勉手当
村　長	620,000円	2.90月分
副村長	587,000円	
教育長	529,000円	
議　長	237,000円	
副議長	212,000円	
議　員	199,000円	

8.職員の手当の状況

①期末手当・勤勉手当（平成26年4月1日）

区　分	6月期	12月期	計
期末手当	1.225月分	1.375月分	2.600月分
勤勉手当	0.675月分	0.675月分	1.350月分
計	1.900月分	2.050月分	3.950月分

②退職手当（平成26年4月1日現在）

区分		大潟村	
		自己都合	定　年
勤続年数	勤続20年	21.6200月分	27.0250月分
	勤続25年	30.8200月分	36.5700月分
	勤続35年	43.7000月分	52.4400月分
最高限度額		52.4400月分	52.4400月分

大潟村職員の給与は、人事院・県人事委員会の給与勧告、国や他の地方公共団体との均衡を考慮しながら、村議会の審議を経て条例で定められ、条例に基づいて支給されています。

●人事院・県人事委員会の給与勧告とは

民間事業所の給与の実態を調査し、職種・役職・年齢・地域等を同じくする者の給与を比較し、差がある場合など必要に応じ、内閣又は県知事に対し勧告をします。

●人事院って？

国家公務員の人事管理のほか、公務員は労働基本権を制約されているため、その代償として労使関係の安定と給与等が社会一般の情勢に適応するよう必要な勧告を国に対して行っています。

③時間外勤務手当（一般会計決算）

区　分	支給実績	職員一人あたり
平成25年度	10,802千円	196千円
平成24年度	10,324千円	181千円

9.勤務時間その他勤務状況

①勤務時間の状況

【勤務時間】午前８時30分から午後５時15分まで

【休憩時間】正午から午後１時00分まで

※幼稚園や保育園などの各施設は、必要に応じて特別の勤務時間を定めています。

②年次有給休暇の取得状況

（平成25年１月１日～12月31日）

区分	対象職員数	総付与日数	総取得日数	平均取得日数
村長部局	34人	1,103日	347.5日	10.2日

※対象職員数は、平成25年1月1日～12月31日まで全期間を在職した一般職員数である。

10.研修の実績（平成25年度）

区　分	内　容	修了者数
行政研修(テーマ研修)	自らテーマを持ち、職務遂行に必要な知識等の習得に努めるとともに、意識改革及び政策形成能力の向上に努めた。	10名
新規採用職員研修	新規採用職員の基本的な知識、技能を習得し、職務に早く適応できるように努めた。また、農業体験を実施し、農家との交流を深めるとともに農業の理解を深めた。	3名
職級別研修	職務内容に応じた課題解決方法を学び、自己啓発に努めた。	5名
能力開発研修	政策形成・実務能力・コミュニケーションスキル等職員の能力開発向上に努めた。	5名
アカデミー研修	市町村アカデミー（千葉県）で実施する各種研修に参加し、職員の能力開発向上に努めた。	4名
役場合同研修	テーマを決定し講演等の合同研修を実施し、職員の自己啓発、知識向上に努めた。	延べ93名

11.福利厚生の状況

職員福利厚生推進協議会への補助　1,998千円（H25年度実績）

人間ドッグ、検診、インフルエンザ予防接種への補助、各種スポーツ大会参加費等への補助

【問合せ】総務企画課総務広報班　☎ 45-2111

選挙管理委員会からのお知らせ

選挙管理委員会 ☎ 45-2111

12月14日（日）は第47回衆議院議員総選挙の投票日です

投票所：村民センター　　**投票時間：午前７時～午後７時**
開票時間：午後８時～

○投票するために
大潟村の選挙人名簿に登録されていることが必要です。年齢要件（平成６年12月15日までに生まれている）と住所要件（12月１日現在で村に引き続き３ヶ月以上住んでいる）を満たしていることが必要です。住民基本台帳の住所と実際の居住地が異なる場合は投票できません。

≪投票日に投票所へ行けない方の投票方法≫

○期日前投票
投票日に旅行や仕事などで、投票所へ行けない方。
【日時】平成26年12月３日（水）～13日（土）
8:30～20:00
【場所】役場旧庁舎２階　選挙管理委員会事務室
（呼び鈴を鳴らしていただければ、１階でも投票できます。）

○不在者投票
入院・施設入所により、投票所へ行けない方。投票方法は、施設職員におたずねください。

○郵便投票
郵便投票証明書を持っている方ができる投票。選挙管理委員会に投票用紙を請求することで行えます。

※公示（12月２日（火））前に入場券が配達されていますので、氏名等を確認し、投票時にご持参ください。
【問合せ】選挙管理委員会　☎ 45-2111

20歳を前に村を離れた方が戻ってきた場合はご連絡をお願いします

20歳になると選挙権を有しますが、実際に投票するためには、選挙管理委員会が管理する「永久選挙人名簿」に登録される必要があります。20歳前に村を離れ、20歳を過ぎて村に戻ってきた場合は、選挙管理委員会へご連絡ください。確認後、３か月経過した時点で村の永久選挙人名簿に登載されます。
【問合せ】選挙管理委員会　☎ 45-2111

住民票が村にあっても実際に居住されてない方の選挙権について

公職選挙法における「住所」とは、生活の本拠を指すものです。このことから、住民票が村にあっても実際に居住されていない方については、村における選挙権が与えられません。
速やかに実際の居住地へ住民票を異動くださるようお願いします。
【問合せ】選挙管理委員会　☎ 45-2111

農業委員会委員選挙人名簿登載申請書の提出について

農家の方が農業委員会委員選挙人名簿に登載されるために必要な申請書を送付しますので、期限を守って農業委員会までご提出ください。
【送付日】12月19日（金）
【提出期限】１月13日（火）
【提出先】大潟村農業委員会
【問合せ】選挙管理員会　☎ 45-2111
農業委員会事務局　☎ 45-3654

総務企画課からのお知らせ

総務企画課 ☎ 45-2111

平成26年工業統計調査にご協力をお願いします

経済産業省では、毎年12月31日を調査期日とした、工業統計調査を実施しています。この調査は、我が国の工業の実態を明らかにすることを目的とした重要な統計です。調査結果は、中小企業施策や地域振興などの基礎資料として利活用され、調査内容の秘密も厳守されますので、ご協力をお願いします。
【問合せ】総務企画課　☎ 45-2111

住民生活課からのお知らせ

住民生活課 ☎ 45-2114
保健センター ☎ 45-2613

特設人権相談所の開設

全国人権擁護委員連合会は、世界人権宣言が採択された12月10日を「人権デー」と定め，全国的な啓発活動を展開しています。村でも、特設人権相談所を開設し、皆様の相談に応じます。

●特設人権相談所の内容

「暴行、虐待を受けた」「セクハラ、パワハラを受けた」「名誉棄損、プライバシー侵害を受けた」「相隣間のトラブル」

これらのような悩みや困りごとがありましたら、ひとりで悩まず人権擁護委員にご相談下さい。電話や面接にて相談に応じています。相談は無料で、秘密は厳守いたします。

【日時】12月６日（土）10:00～16:00
【場所】大潟村公民館
【相談員】大潟村人権擁護委員
【問合せ】住民生活課　☎ 45-2114

●常設人権相談所の内容

常設の人権相談所も平日に開設されておりますので、ご利用ください。

【日時】平日　8:30～17:15
【場所】秋田地方法務局人権擁護課（秋田市山王７丁目１－３）
【電話番号】
みんなの人権１１０番　☎ 0570-003-110
子どもの人権１１０番　☎ 0120-007-110
女性の人権ホットライン　☎ 0570-070-810
【インターネット人権相談受付窓口】
「インターネット人権相談」で検索。
携帯電話でも相談できます。
【問合せ】秋田県人権啓発活動ネットワーク協議会事務局　☎ 018-862-1443

防災行政無線の戸別受信機の設置について

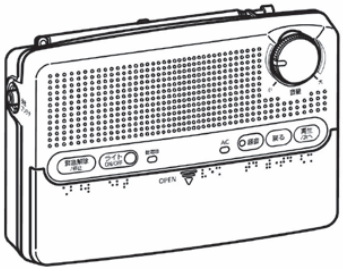
村が今年度事業として進めているデジタル防災行政無線の導入にあわせて、戸別受信機を村内各家庭に無料配布することとしています。

設置に当たっては家屋内での作業が必要となり、指定された設置業者が作業を請け負っております。

具体的な設置日時等が決まり次第、改めてお知らせしますので作業へのご協力をお願いします。

なお、設置は平成27年３月までを予定しております。

【設置業者】日興通信株式会社秋田支店



※Ａ４用紙の半分くらいの大きさです。

健康教室「男性のためのメタボリック解消教室」

運動による体力づくりと、メタボリックシンドロームの解消をめざします。

【開催日】
12月10日、17日、24日（全て水）
１月７日、14日、21日、28日（全て水）
２月４日（水）、10日（火）、18日（水）、25日（水）
【時間】10:00～11:30
【会場】保健センター
【対象】40歳以上の男性（健診等で肥満等が指摘された方）
【申込・問合せ】保健センター　☎ 45-2613

健康教室「リフレッシュ体操」

ストレッチ、筋力アップにより体重の減少を目指します。

【開催日】
12月12日、19日、26日（全て金）
１月９日、16日、23日、30日（全て金）
２月６日、13日、20日、27日（全て金）
【時間】13:30～15:00
【会場】保健センター
【対象】40歳以上の女性（健診等で肥満等が指摘された方）
【申込・問合せ】保健センター　☎ 45-2613

住民生活課からのお知らせ

保健センター ☎ 45-2613
地域包括支援センター ☎ 22-4321

今月の保健センター相談・健診

◎乳児健診
【日時】12月11日（木）13:00～
【場所】保健センター
【対象】４ヶ月（H26.7.11～8.11生）
７ヶ月（H26.4.11～5.11生）
10ヶ月（H26.1.11～2.11生）
13ヶ月児（H25.11月生）の乳児

◎健康相談
12月10日（水）9:50～　ふれあい健康館
12月10日（水）13:00～　保健センター
（栄養相談可）
12月17日（水）9:50～　ふれあい健康館
12月25日（木）9:30～11:00　保健センター
１月７日（水）9:50～　ふれあい健康館
１月７日（水）13:00～　保健センター
（栄養相談可）
※このほか、保健センター来所者の相談も随時受け付けています。

◎福田先生の健康相談
いろいろな疾病の相談に応じます。お気軽にお出でください。
【日時】12月11日(木)・25日(木)14:00～15:00
【会場・申込】保健センター　☎ 45-2613

◎保健センター開放日「潟っ子広場」
【日時】12月24日（水）
【場所】保育園
【内容】クリスマス会
「みんないっしょに☆クリスマス」

◎専門医による「心の健康相談日」
12月９日(火) 13:30～15:00
会場：秋田地域振興局福祉環境部
12月16日(火) 13:30～15:00
会場：男鹿市保健福祉センター
【申込・問合せ】秋田地域振興局福祉環境部
児童障害者班　☎ 018-855-5171

【問合せ】保健センター ☎ 45-2613

今月の介護予防

◎栄養改善教室
バランスがとれた食事について学び、健康的な生活を目指します。
【開催日時】12月11日（木）10:30～13:30
１月16日（金）10:00～13:30
【場所】ひだまり苑（12月11日）
村民センター（１月　日）
【対象】65歳以上の一人暮らしの方、65歳以上の夫婦世帯の方
【内容】試食（ひだまり苑の昼食）、講話、調理実習等
※昼食代は実費（500円）となります。

◎介護予防教室「いきいき元気の集い」
いきいきとした生活が出来るように、歌や体操、ゲームをしながら楽しく過ごします。
【開催日】１月６日（火）
【時間】10:30～11:30
【場所】ふれあい健康館
【対象】おおむね65歳以上

◎転倒予防教室「元気！はつらつ教室」
転倒などによる寝たきりを予防し、自分らしい生活が送れるように、運動を通して筋力の維持、向上をはかります。
【開催日】12月10日、17日、24日、１月７日（全て水）
【時間】13:30～15:00
【場所】ふれあい健康館
【対象】おおむね65歳以上

◎ひざ教室「らくひざ教室」
ひざのセルフケア（自分で行う手入れ）の方法を学びます。
【開催日】12月12日・26日（全て金）
【時間】10:00～11:30
【場所】ふれあい健康館
【対象】申込みした方

【問合せ】地域包括支援センター ☎ 22-4321

産業建設課からのお知らせ

産業建設課 ☎ 45-3653

除雪作業にご協力を

冬期間の安全な路面の確保のため、村では村道の除雪体制に万全を期しています。

安全で確実な除雪のために、以下の点に協力をお願いいたします。

1．路上駐車はやめましょう！

除雪作業の妨げとなり住区のみなさんにご迷惑がかかります。

2．玄関先や車庫前などの雪寄せにご協力を

玄関先や車庫前に残った雪は、各家庭で除雪をお願いします。※機械の性能上、どうしても雪が残ってしまう場合があります。

3．早朝・夜間の作業にご理解を

除雪作業は交通量の少ない早朝、夜間に行います。騒音、振動などによりご迷惑をおかけしますがご理解ご協力をお願いします。

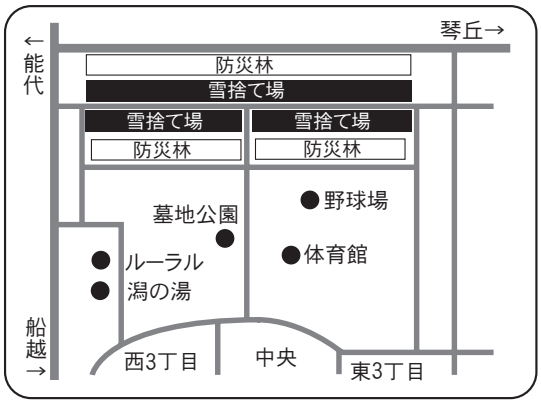
4．雪捨て場（右図）の適切な利用を

昨年と同じ北２丁目地内の防災林沿を雪捨て場とします。利用はルールを守りましょう。

5．ゴミ集積所の雪かきは各自治会で

ゴミ集積所に残った雪は、各自治会等地域住民の方々で除雪をお願いします。

【問合せ】産業建設課　☎ 45-3653



注）捨てるときは道路の入り口付近に捨てないで、奥の方へ捨てるようにし通行の妨げとならないようにしてください。また、雪以外の土砂やゴミなどを混入しないでください。

水道の凍結にはご注意を

12月～２月にかけて、水道の凍結事故が多発します。水が出ないのはもちろんですが、破裂等を伴いますと高額な修理費がかかることがありますのでご注意ください。

○こんなときが危ない

・外気温が－４度以下のとき・真冬日が続いたとき
・旅行等により長期間水道を使用しないとき

○防止方法

・『水抜き栓』による水落としの実施

○凍結した際の対処法

・水道管や蛇口にタオル等を巻き付け、ゆっくりと時間をかけてぬるま湯をかける
・上記にヘアドライヤーの熱風をかける
・ストーブ等で部屋全体を暖める

○修理業者（指定工事店）については産業建設課までお問い合わせください。

【問合せ】産業建設課　☎ 45-3653

第3回　農地の借受希望者の募集 ～農地の貸付希望者の受付も行っています～

秋田県農業公社では、農地中間管理機構として、農用地等の借受を希望する者の募集を行っていますので、借受を希望する方は産業建設課においでください。他市町村の地域にも応募できますので、ご相談ください。また、農地を機構に貸したい希望者（出し手）についても受付しています。

【募集期間】平成26年12月19日(金)
～平成27年１月26日(月)

【問合せ】産業建設課　☎ 45-3653
公益社団法人　秋田県農業公社　☎ 018-893-6223

第12回ふるさとCM大賞に大潟村も参加しました！

県内市町村がふるさとを自慢する30秒のCMのコンテスト『第12回あきたふるさと手作りCM大賞』（秋田朝日放送主催）に、大潟村も参加しました。

その様子が次のとおり放送されますので、ぜひご覧ください。

【放送予定】12月13日（土）16:00～17:30
秋田朝日放送（ＡＡＢ）

【問合せ】産業建設課　☎ 45-3653

大潟村農業チャレンジプラン技術検討会を開催します

村内において、野菜に取り組む団体の事例を通じ、野菜栽培に本格的に取り組んでみませんか？下記日程により、技術検討会を開催しますので、多数の参加をお待ちしています。

【日時】12月19日（金）13:00～17:00
【場所】ルーラル大潟
【内容】
◎ネギ・カボチャ・花き等の栽培に関しての事例発表
◎秋田県立大学　津田教授による「大規模農家経営実態調査」報告
◎（株）トヨタ開発　農業IT管理ツール「豊作計画」

【問合せ】産業建設課　☎ 45-3653

議会事務局からのお知らせ

議会事務局 ☎ 45-2587

村議会12月定例会の日程（予定）

平成26年第６回（12月）定例会は以下の日程で行われる予定です。皆様の傍聴をお待ちしております。

【会期】12月11日（木）～17日（水）

【日程】

11～12日：本会議
（村政報告・一般質問・総括質疑）
12～16日：各委員会審議
17日：本会議（委員長報告・提出議案の採決）

【備考】議会の日程は11月30日現在の予定です。日程については、審議状況等により変更される場合がありますので、議会のホームページでご確認いただくか、電話でお問い合わせいただきますようお願いします。

【問合せ】議会事務局　☎ 45-2587
総務企画課　☎ 45-2111
ホームページアドレス
http://www.ogata.or.jp/gikai/

教育委員会からのお知らせ

教育委員会 ☎ 45-3240

「大潟村子ども・子育て支援事業計画【案】」に対する意見を募集します。

現在、子ども・子育て支援を総合的・一体的に推進していくため「大潟村子ども・子育て支援事業計画」の策定を進めています。

計画の基礎資料となる「子育て支援に関する調査」を昨年11月、村内の未就学児と小学生の保護者を対象に実施し、子育て世帯の就労状況や様々な子育て支援の利用意向等をお聞きしました。

この結果を踏まえ、「大潟村子ども・子育て会議」において審議し「大潟村子ども・子育て支援事業計画【案】」をとりまとめましたので、さらにより良い計画とするため、村民の皆さんから広く意見を募集します。

【意見の受付期間】12月19日（金）まで

【意見を提出できる方】

次のいずれかに該当する方
1）村内にお住まいの方
2）村内の学校・事業所に通学・通勤している方

【閲覧場所】

1）大潟村公式ホームページ
2）大潟村教育委員会の窓口

【意見の提出方法】所定の様式に必要事項を記入のうえ、持参・郵送・FAX・電子メールで大潟村教育委員会あて提出してください。

【提出の際のお願い】

1）氏名など必要事項が記入されていない意見は受付できません。
2）意見はなるべく簡潔にご記入ください。

【問合せ】教育委員会　☎ 45-3240

潟っ子のつぶやき in 大潟幼稚園

☆きれいだね

遊歩道の木々を見て、
Aくん「葉っぱがきれいだよ。」
とうれしそうに伝えてきました。
先生「どんな色かな。」
Aくん「赤でしょ、黄色でしょ、オレンジもあるよ。」
Bさん「なんだか、七色できれい・・・。」
Aくん「じゃあ、七色のトンネルをくぐってレッツゴウ！」
身近な秋をみつけ、足どり軽やかに散歩を楽しみました。

☆いいにおい!?

おいも団子の準備で先生の部屋でサツマイモをゆでていました。
廊下をとおりかかった、
Cさん「あっ、おいものにおいがする。」
先生「明日、お団子作るからね。」
Cさん「楽しみ。いいにおいで鼻が曲がりそう・・・。」
鼻が曲がりそうなほどいいにおいだったんですね。

次回は大潟保育園のつぶやきです。

教育委員会からのお知らせ

干拓博物館 ☎ 22-4113
子育て支援センター ☎ 45-2345

干拓博物館 冬の博物館イベントのお知らせ！

干拓博物館で、親子で楽しみながら参加できるイベントを実施いたします。是非ご参加ください。

工作教室「プロペラ飛行機を作ろう！」

誰もが抱く大空への憧れを満たしてくれる模型飛行機を作って飛ばして、親子で楽しんで参加してみませんか。

【日時】12月７日（日）9:30～11:30
【場所】干拓博物館
【対象】幼・小・中学生とその保護者（小３以下は保護者同伴）
【定員】先着15名
【工作支援】大潟の自然を愛する会
【参加費】無料
【申込・問合せ】12月６日（土）までに
干拓博物館へ　☎ 22-4113

たのしさいっぱい！子育て応援！！ 子育て支援センター

子育て支援センター（幼稚園内）は、０歳児から５歳児の未就園児とその保護者がいっしょに遊べるよう、幼稚園を開放しています。

また、子育てに関する悩みなどの相談にも乗っていますので、お気軽にお越し下さい。

【開設日時】
月曜日～金曜日（祝日・年末年始を除く）
午前　９時30分～12時00分
午後　１時00分～３時30分

また、イベント『さくらんぼクラブ』では、季節の行事や手遊び、簡単な制作など親子一緒に楽しめるものを計画しています。12月は、楽しいクリスマス会を計画しています。お友だちをつくりたい方、子どもを存分に遊ばせたい方、ぜひ遊びにきてください。

＜12月のさくらんぼクラブ＞
●12月24日（水）10時～11時
みんないっしょに☆クリスマス
～クリスマス会を楽しもう（潟っこ広場合同）～

＜１月のさくらんぼクラブ＞
●１月29日（木）10時～11時
一緒に制作（節分）
～おにのお面を作ろう！（親子制作）～
※年間行事予定では14日でしたが、変更になりました。

【問合せ】子育て支援センター（幼稚園内）
☎ 45-2345

11月購入･寄贈図書

12月に入り、寒さが増してきましたね。寒い日には、こたつにでも入って読書を楽しみませんか。

【本を借りる際のお願い】
公民館図書室の本を借りるときは、「図書貸し出し簿」（児童図書コーナーの本は「絵本貸し出し簿」）に記入をお願いします。また、本の貸出期間は２週間です。皆さんのご協力をお願いいたします。

【問合せ】公民館　☎ 45-2611

No.	タイトル	著者	No.	タイトル	著者
1	神さまとのおしゃべりーあなたの常識は、誰かの非常識	さとう みつろう	7	ぼくのおやつ～おうちにあるもので作れるパンとお菓子56レシピ	ぼく
2	ほぉ…、ここが ちきゅうのほいくえんか	てぃ先生	8	のせてのせて100かいだてのバス	マイク スミス
3	アイネクライネナハトムジーク	伊坂 幸太郎	9	100かいだてのいえ	岩井 俊雄
4	フォルトゥナの瞳	百田 尚樹	10	ちか100かいだてのいえ	岩井 俊雄
5	日本女子大学生の世の中ウオッチ	是恒香琳	11	マップス：新・世界図絵	アレクサンドラ ミジェリンスカ、ダニエル ミジェリンスキ
6	おかんメール	『おかんメール』制作委員会	12	大潟村の人びと	海山 徳宏

教育委員会からのお知らせ

公民館 ☎ 45-2611

12月・1月のきらきら塾

①ニュースポーツ
【日時】12月６日（土）
【集合】9:30～11:30
【対象】小学生30名　保護者の参加も大歓迎
【内容】ユニホック・ユニカールなど
【会場】大潟村体育館
【講師】スポーツ推進委員会
【参加費】１人50円（保険料）
【申込・問合せ】公民館へ　☎ 45-2611

②スケート教室
【日時】12月13日（土）9:00～16:00
【定員】小学生
【場所】県立スケート場
【協力団体】子ども会育成連絡協議会
【参加費】無し
【申込期間】12月１日(月）～12月５日(金)
【申込・問合せ】公民館へ　☎ 45-2611

③七宝焼き
【日時】12月20日（土）9:00～11:00
【定員】小学生10名程度（※１年生、２年生は保護者付き添い）
【内容】クリスマス用アクセサリー作り
【会場】大潟村公民館調理室
【講師】七宝焼き同好会・更正保護女性の会
【参加費】500円（材料費）
【申込・問合せ】12月12日（金）まで
公民館へ　☎ 45-2611

④お茶会
【日時】平成27年１月10日（土）10:00～12:00
【対象】小学生
【内容】抹茶をいただく
【会場】大潟村村民センター
【講師】裏千家お茶愛好会
【参加費】150円（お菓子代）
【申込・問合せ】12月20日（金）まで
公民館へ　☎ 45-2611

12月・1月の家庭教育学級

①「kinuちゃんのやさしい料理教室～クリスマスに向けて～」
【日時】12月17日（水）10:00～13:30
【講師】家庭料理研究家kinuちゃん 氏
【会場】大潟村村民センター調理室
【対象】家庭教育学級生
【申込み・お問合せ】
12月12日（金）17:00まで
公民館へ　☎ 45-2611

②講話「子供のやる気を引き出す魔法の質問」
【日時】平成27年１月20日（火）10:00～12:00
【講師】佐々木　博子 氏
【会場】大潟村公民館大集会室
【対象】家庭教育学級生・村民
【申込み・問合せ】１月14日（水）17:00まで
公民館へ　☎ 45-2611

大潟っ子冬季チャレンジ体験参加者募集

【日時】平成27年１月８日(木）～10日(土)
２泊３日
【宿泊先】太平山自然学習センター（秋田市）
【対象】小学４年生～中学２年生
【定員】12名（定員になり次第締切）
【参加費】7,000円
【申込・問合せ】12月16日（火）まで
公民館へ　☎ 45-2611

公民館主催講座

楽しいガーデニング「お正月用フラワーアレンジメント」
【日時】12月26日（金）9:30～12:00
【定員】20名
【会場】大潟村公民館和室
【講師】中本利江子 氏
【参加費】2,500円～3,000円
【申込・問合せ】12月15日（月）まで
公民館へ　☎ 45-2611

教育委員会からのお知らせ

村民体育館 ☎ 45-2269

卓球教室のお知らせ

【会場】村民体育館
【実施日】12月～３月末の毎週水曜日
18:00～20:00
【参加料】大人・子供ともに1,600円
（傷害保険は各自で加入してください。）
【主催】大潟村卓球協会
【申込・問合せ】村民体育館　☎ 45-2269

ソフトテニス教室のお知らせ

【会場】村民体育館
【実施日】12月～３月上旬。
【参加料】無料
（傷害保険は各自で加入してください）
【主催】ソフトテニスクラブ
【申込・問合せ】　村民体育館　☎ 45-2269

村民卓球大会の参加者を募集します

【日時】12月14日（日）8:30
【会場】村民体育館
【競技種目】個人戦・団体戦・夫婦ダブルス
【参加資格】村内に在住又は勤務する方
【申込期限】12月10日（水）
【主催】大潟村体育協会　**【主管】**大潟村卓球協会
【問合せ】村民体育館　☎ 45-2269

村民剣道大会の参加者を募集します

【日時】12月23日（火）13:00
【会場】村民体育館
【競技種目】トーナメント戦・リーグ戦・個人戦
【参加資格】村内に在住又は勤務する方
【申込期限】12月12日（金）
【主催】大潟村体育協会　**【主管】**大潟村剣友会
【問合せ】村民体育館　☎ 45-2269

冬期間、体育館を月曜日も開館しています。

３月までの冬期間は、休館日である月曜日を一部開館します。健康、体力づくりに有効活用してください。

なお、月曜日の開館時間と利用対象は次のとおりです。

【午後の部】　13:00～16:00　一般開放
【夜間の部】　17:00～22:00　団体利用開放
※9:00～12:00は清掃等のため休館します。
【問合せ】村民体育館　電話45-2269

年末年始の村民体育館の休館について

年末年始の体育館の休館日は下記の通りです。

月　日	日　中	夜　間
12月30日(火)	9:00～17:00開館	閉　館
12月31日(水)	休　館	休　館
～１月３日(土)	休　館	休　館
１月４日(日)	9:00～17:00開館	閉　館
１月５日(月)	13:00～17:00開館※	閉　館

【問合せ】村民体育館　☎ 45-2269
※午前中は清掃のため休館。

村民体育館に忘れ物はありませんか？

村民体育館に傘やタオル、その他私物などの忘れ物はありませんか？村民体育館の玄関に忘れ物コーナーがありますので心当たりのある方は12月30日までに体育館へお越し下さい。持ち主不明の忘れ物在庫を一度処分します。

入札結果について

（予定価格130万円以上）

平成26年10月末までの入札結果は以下の通りです。詳しい入札結果については、入札結果閲覧簿(総務企画課カウンター 大潟村ホームページ)をご覧ください。

事　業　名	契約方式	入札日	契約額(税込)	落札率(%)	業　者　名
街灯補修	指名競争	10月16日	2,397,600円	94.83%	若美電気工事㈱
ひだまり苑天井換気扇清掃	指名競争	10月21日	2,084,400円	98.02%	羽後設備株式会社
保安林指定解除申請業務	指名競争	10月22日	3,780,000円	97.22%	㈱ウヌマ地域総研

教育委員会からのお知らせ

村民体育館 ☎ 45-2269

スポーレおおがた12月教室☆

☆12月の教室内容☆

種　目	日にち	場　所	時　間	備　考
ボクササイズ	5・19	村民体育館	10:00～	
ちょいスポ	12	村民体育館	10:00～	
きらきら塾	6	村民体育館	10:00～	
３Ｂ体操	5・12・19	村民センター	13:30～	
高齢者ラージボール卓球	10・17	健康館	10:00～	
自力整体	4・17	村民センター	10:00～	
おためし自力整体	11	健康館	19:30～	
シェイプアップ	10・24	10日（村民センター）	10:00～	
		24日（村民体育館）		
生活ヨガ	1・15	健康館	10:00～	
ストレッチポール	2・16	健康館	19:30～	
親子３Ｂ体操	3	村民体育館	14:30～	
ちびっこ体操	10・17	村民体育館	14:30～	
ジュニア複合	10・17	村民体育館	16:00～	
ミニテニス	11・18	村民体育館	10:00～	
スキー教室	25	八幡平	6:30～	
きらきら塾＆	27	村民体育館	10:00～	

※教室へ参加される方は水分補給等の準備をしてください。
※自力整体・シェイプアップ・生活ヨガ教室への参加者はヨガマットを持参してください。
【問合せ】スポーレおおがた（村民体育館内）☎ 45-2269

スポーレおおがた　会員交流会のお知らせ

ユニカール、ミニテニス、ソフトバレーなどで体を動かしませんか。昼食はきりたんぽ鍋（無料）！
キッズコーナーもありますので、親子・友だちみんなで遊びましょう。

【日時】12月13日（土）10:00～　**【内容】**ユニカール大会
【場所】村民体育館　**【申込・問合せ】**村民体育館　☎ 45-2269

「読書感想文」を募集します。

大潟村教育委員会では、読書活動推進の一環として、村民の皆さんからの読書感想文を募集します。なお、ご応募いただいた感想文は３月までに冊子にまとめ、応募者全員にお届けいたします。多数のご応募をお待ちしています！

【対象図書】自由（特に指定はありません）
【感想文の枚数】
小学生（低学年）・・・原稿用紙１～２枚以内　小学生（高学年）・・・原稿用紙２～３枚以内
小学生・・・・・・・・原稿用紙３～４枚以内　高校生以上・・・・・・原稿用紙４枚以上
※公民館に原稿用紙（400字詰）を準備しています。ご活用ください。
【応募締切り】平成27年２月３日（火）
【感想文届け先】大潟村公民館　**【問合せ】**公民館　☎ 45-2611

環境エネルギー室からのお知らせ

環境エネルギー室 ☎ 45-2115

EM菌による生ごみ減量化講習会の開催について

ＥＭ菌を用いた生ごみの減量化を推進するため次により村民を対象とした講習会を実施しますので、お気軽にご参加ください。

【日時】12月９日（火）13:30～14:30

【会場】役場車庫
（消防大潟分署となり）

【問合せ】環境エネルギー室
☎ 45-2115

公衆トイレの冬期間閉鎖について

12月から２月の冬期間は、降雪や凍結防止のため公衆トイレ（墓地公園、公民館前、干拓記念碑前）の使用を休止しますのでご協力をお願いします。

【問合せ】環境エネルギー室　☎ 45-2115

庭木・剪定木類の受け入れ休止期間について

庭木・剪定木類をごみ処分場（リサイクルセンター）で受け入れていますが、12月から２月の冬期間は、降雪のため受け入れを休止します。その間は各自で保管して下さるようお願いします。

【問合せ】環境エネルギー室　☎ 45-2115

情報・募集・ご案内

秋田北税務署から

個人事業者の平成26年分消費税及び地方消費税の確定申告について

平成26年４月１日から消費税及び地方消費税の税率が８％に引き上げられました。平成26年分（平成26年４月１日を含む課税期間）の消費税及び地方消費税の確定申告を作成するためには、帳簿等において、課税取引を適用税率ごとに区分して集計する必要があります。

詳しくは、国税庁ホームページ(www.nta.go.jp)をご覧ください。

【問合せ】秋田北税務署　☎ 018-845-1161

総務省からのお知らせ

政治家の寄附は禁止、有権者が求めることも禁止されています。

【政治家の寄附禁止の対象（例）】

◆地域の運動会･スポーツ大会への飲食物の差入れ
◆町内会の集会・旅行等の催し物への寸志・飲食物の差入れ
◆お祭への寄附・差入れ
◆落成式・開店祝等の花輪
◆お歳暮・お年賀
◆秘書等が代理で出席する場合の葬儀の香典
◆葬儀の花輪・供花　◆入学祝・卒業祝
◆病気見舞
◆秘書等が代理で出席する場合の結婚祝

みんなで徹底しよう！三ない運動
「贈らない！求めない！受け取らない！」

秋田北税務署から

平成26年１月から帳簿等の保存制度の対象者が拡大拡大されました

個人の白色申告者のうち前々年分あるいは前年分の事業所得、不動産所得又は山林所得の合計額が300万円を超える方に必要とされていた記帳と帳簿書類の保存が、これらの所得を生ずべき業務を行う全ての方（所得税の申告の必要がない方を含みます）について、平成26年１月から同様に必要となりました。

記帳･帳簿等の保存制度や記帳の内容の詳細は、国税庁ホームページに掲載されていますので、ご覧ください。

【問合せ】秋田北税務署　☎ 018-845-1161

五城目警察署から

12月10日～16日までは『北朝鮮人権侵害問題啓発週間』です

平成18年６月、「拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する法律」が施行され、国および地方公共団体の責務が定められるとともに、毎年12月10日～16日までが「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」とされました。

この機会に、北朝鮮当局による人権侵害問題に対する関心と知識を深めましょう。

《拉致容疑事案について情報をお持ちの方は》
五城目警察署　☎ 018-852-4100
秋田県警察本部　☎ 018-863-1111
または最寄りの交番・駐在所まで。

情報・募集・ご案内

大潟村青年会から

青年会クリスマスプレゼント配達のお知らせ

青年会では恒例のクリスマスプレゼントの配達を行います。申込み頂いた方のご自宅に、会員がサンタに扮してプレゼントを配達します。

希望される方は、代金を添えて公民館に申込んで下さい。申込用紙は公民館にあります。なお、ブーツ以外のプレゼントも同時に配達を希望される方は、申込時に伝えて下さい。

【申込期限】12月19日（金）
【配達日】12月24日（水）　18:00～20:00
【代金】ブーツ１個　1,000円
【申込・問合せ】公民館　☎ 45-2611

農業研修センターからのお知らせ

秋田県農業研修センター12月の研修予定

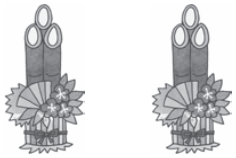
問合せ：農業研修センター企画・研修班　☎：018-881-3611

○農業経営者研修農業簿記（手書き）②
【日時】12月10日(水)～11日(木)
10:00～15:00
【定員】20名　**【費用】**500円
【問合せ】農業研修センター

○農業経営者研修農業経営③
【日時】12月19日(金) 10:00～15:00
【定員】25名　**【費用】**500円
【問合せ】農業研修センター

☆企画展のご案内
○生態系公園の風景　写真展
【日時】12月６日(土)～12月21日(日)
9:00～16:00
【その他】無料

○新年を祝う　我が家のミニ門松づくり
【日時】12月14日(日) 13:30～15:30
【定員】20名　**【費用】**500円
【問合せ】生態系公園管理事務所
☎ 0185-45-3106



【問合せ】生態系公園管理事務所
☎ 0185-45-3106

大潟村合同祈願祭実行委員会から

平成27年大潟村合同祈願祭のご案内

昭和30年４月２日～昭和31年４月１日生まれの方（還暦）、昭和49年４月２日～昭和50年４月１日生まれの男性（厄年）、昭和58年４月２日～昭和59年４月１日生まれの女性（厄年）を対象に、合同祈願祭を行います。参加ご希望の方は１月９日（金）までに、参加する神事等の金額を下記の口座までお振り込みいただき、祈願祭当日、サンルーラルにご参集ください。

なお、個人情報保護の関係から、全ての対象者を特定できないため案内通知が届かない方がおられると思いますが、何卒ご理解いただき、通知が届かない場合においても、ご出席いただきますようお願いいたします。

【日時】平成27年２月１日（日）神事11:00～
【会場】サンルーラル大潟
【会費】※参加するものの額をお振り込みください
・神事（御守、破魔矢、御神酒、写真）5,000円
・直会　男性8,000円　女性5,000円
【振込口座】※１月９日（金）締切
ＪＡ大潟村　本所　普通0020655
平成27年度大潟村合同祈願祭実行委員会
会計　小玉大助
【申込・問合せ】大潟村合同祈願祭実行委員会
60才還暦代表　池田　彰　☎ 45-2422
42歳厄年代表　桜田宏誠　☎ 45-2391
33歳厄年代表　加藤明子　☎ 45-2627
事務局　川原伸一　☎ 45-2392
※詳細は事務局までお問い合わせください。

今月のカレンダー

月日	行事名	場所
12月		
1日(月)	振替休業日	小学校
6日(土)	なかよし発表会	幼稚園
11日(木)	下学年ＰＴＡ授業参観	小学校
12日(金)	上学年ＰＴＡ授業参観	小学校
14日(日)	村民卓球大会(8:30)	村民体育館
23日(火)	村民剣道大会	村民体育館
26日(金)	冬季休業（～1/13）	幼・小・中
30日(火)	役場仕事納め	役場
31日(水)	年末年始の休業(～1月5日)	役場
1月		
6日(火)	役場仕事始め	役場
	大潟村消防出初式	ふれあい健康館
7日(水)	農業委員会定例総会（15:00）	役場

大潟村公共施設 年末年始休業期間のお知らせ

施設名	休業期間
役場庁舎、公民館、診療所、保健センター、ごみ集積、村民センター	12月31日（水）～1月5日（月）
博物館、ごみ処分場、体育館（詳細29ページ）	12月31日（水）～1月3日（土）
ふれあい健康館	無休（12月31日（水）～1月5日（月）は9:00～16:00開館）

休業期間中の緊急連絡

大潟村総務企画課　☎45-2111

村の人口の動き・公共施設の状況

◎人口の動き（11月１日現在）

項目	人数（人）(増減)	項目	人数（人）
世帯数	1,086　(0)	転入	6
人口	3,281　(+7)	転出	3
男	1,621　(+1)	出生	5
女	1,660　(+6)	死亡	1

◎公共施設の利用状況（10月中）

施設名	利用者数	施設名	利用者数(量)
公民館	987人	村民センター	730人
村民体育館	1,252人	ふれあい健康館	1,492人
干拓博物館	1,380人	ごみ処理量	65ｔ
多目的運動広場	3,664人	水道使用量	42,478㎥
多目的グラウンド	353人	下水排水量	46,764㎥
子育て支援センター	88人		

◎公共施設の太陽光発電量（10月中）

施設名	発電能力 kW	発電量 kWh	消費量 kWh	売電量 kWh	買電量 kWh
西１分館	9.99	765	147	734	116
西２分館	3.96	240	48	224	32
西３分館	7.74	654	30	645	21
東２分館	9.99	941	159	865	83
東３分館	9.99	875	151	833	109
北１コミ会館	7.20	349	94	310	55
北２コミ会館	5.40	489	41	464	16
南コミ会館	4.32	341	129	280	68
多目的会館	4.95	425	127	386	88
合　　計	63.54	5,079	926	4,741	588

○売電量の金額換算：199,122円（単価42円/kWh）
○発電量の石油換算：1,072リットル

12月の行政相談

行政や特殊法人等の仕事についての苦情や意見・要望を受け付け、その解決を促進するよう相談に応じています。お気軽にご相談下さい。

【行政相談委員】北村 シゲさん（西3-4、☎45-2918）
【相談日】12月16日（火）10:00～12:00
【会　場】役場旧庁舎２階　第２委員会室

◎大潟村マイタウンバスは、年末年始期間は日曜祝日ダイヤでの運行となります。ご利用の際はご注意ください。

【日曜祝日ダイヤ運行期間】
平成26年12月31日(水)
～平成27年1月4日(日)

祝 大潟村創立50周年記念式典

大潟小学校・中学校の児童生徒による合唱

村長式辞

記念式典には約500名が参列

声高らかに万歳三唱。23日の祝賀会にて